

■清浦奎吾 官僚・政治家。治安立法、警察制度の整備で大出世も、"鰻香内閣"は流産、次の特権内閣も半年で総辞職。

きょうらけいご

国定忠治 1850 = 肥後国来民村(熊本県鹿本町)の本派本願寺の明照寺住職大久保了思の五男に生まれる。

ペリー来航 1853 = 3歳 :

幼時より、熊本城下の浄行寺で養われたが、

のち養家を出て還俗し、清浦姓を名乗る。

安政の大獄 1859 = 9歳 :

桜田門外変 1860 = 10歳 :

薩摩藩士密航 1865 = 15歳 : 豊後日田の咸宜園で漢学を学び始め、まもなく大舎長を務める。

明治維新 1868 = 18歳 :

熊本に戻って私塾を開いたが、

学問のすすめ 1872 = 22歳 : 上京して埼玉県に赴き、小学校長を経て、

明治6年政変 1873 = 23歳 :

埼玉県属となり、学校改革に努める。

三つの反乱 1876 = 26歳 : 司法省に入り、治罪法制定に従事、

西南戦争 1877 = 27歳 :

明治14年政変 1881 = 31歳 :

やがて、山県有朋の信任を得、

秩父事件 1884 = 34歳 : \*山県内相のもとで警保局長となり、

帝国大学始 1886 = 36歳 :

保安条例などの治安立法、警察制度の整備に当たる。

帝国憲法発布 1889 = 39歳 :

足尾鉍毒始 1891 = 41歳 : 辞任後、

貴院議員、司法次官をへて、

日清戦争始 1894 = 44歳 :

日清戦争終 1895 = 45歳 :

白馬会 1896 = 46歳 : \*第2次松方内閣の法相、

子規句歌革新 1898 = 48歳 : 第2次山県内閣の法相に就任、

ピアノ国産化 1900 = 50歳 : 治安警察法制定などを推進。

田中正造直訴 1901 = 51歳 : 第1次桂内閣の法相・内相兼農商務相をつとめたのち、

日露戦争始 1904 = 54歳 :

日露戦争終 1905 = 55歳 :

満鉄発足 1906 = 56歳 : 枢密顧問官となり、

明治天皇没 1912 = 62歳 :

大正政変 1913 = 63歳 :

第一次大戦始 1914 = 64歳 : \*組閣を命ぜられたが、海相を得られず流産、世に<鰻香内閣>と評される。

ロシア革命 1917 = 67歳 : 枢密院副議長、

原敬首相暗殺 1921 = 71歳 :

水平社結成 1922 = 72歳 : 死去した山県の後を継いで、同議長をつとめ、

護憲三派圧勝 1924 = 74歳 : \*貴院を基盤とし、衆院では政友本党のみを与党とする特権内閣を組織したが、護憲三派連合の攻撃をうけ、衆院選挙で大敗して半年で総辞職。

以後、前官待遇を受け、

満州事変 1931 = 81歳 :

日米開戦 1941 = 91歳 : 東条英機を後継首班に推す重臣会議に出席し、

1942 = 92歳 : 没した。

「没年日本史人物事典」, 「日本の群像」, 平凡社百科事典,